

2022.11.17 (木)  
第18回例会  
(通算3687回)

## 2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄  
副会長 清水 輝彦  
幹事 中島 政徳  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度  
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度  
RI会長 ジェニファー・ジョーンズ  
第2500地区ガバナー  
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	ロータリー財団月間
本日のプログラム	夜間例会「創立86周年にちなんで」(担当:理事会)
次週例会	講師例会「外国人留学生の受け入れの楽しみ方」(担当:米山記念奨学会委員会)

- ロータリーソング: 四つのテスト
- ソングリーダー: 柿田 英樹君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト なし

### 会長の時間

滝越 康雄会長

みなさん、こんばんは。今日の会長挨拶は3つございます。

まず、ロータリーのことではないのですが、会員の前田秀幸君が厚生労働大臣表彰を受けました。おめでとうございます。

コロナ感染症対策での功績で、陰ながらのご尽力・功績に敬意を表します。

ふたつ目、釧路ロータリークラブの次々年度の会長ノミニニーに関しまして、10月27日の例会で私どもが告示を申し上げましたが、今日が締め切りですけれど届け出がございません。まだ、間に合うのですが誰もいませんので定款第11条第5節の規定によりまして、つながつている細則第3条第1節の規定に従いまして、次々年度会長ノミニニーの選出は私どもが指名委員会を設置いたします。その段階でのその機関によって指名させていただきます。12月1日の時点で公表したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3つ目が私のスピーチのことです。私ごとですが在籍32年になります。釧路クラブは86年ですので結局、時間でいうと37%を見て来たわけなのですが、今日はロータリーの創立記念日ということで何かないかなと一昨日探してみました。ロータリーは内部文書は綺



麗で、なかなか出てこないの、Googleから拾って86年の時間経過と中に太平洋戦争挟まっていますので、ロータリークラブがどうぐり抜けてきたかを調べてまいりました。

札幌地区のバスターガバナーが書いた文書が見つかったのですが、非常に詳しい文書で一例会ができるような内容だと思っています。その内容ですけれど、釧路クラブ・札幌クラブ・東京ロータリーと日本ロータリーと4つありますが時間が無いので簡略します。

釧路ロータリークラブは1936年昭和11年に創立されまして、飯田要次郎が会長をお勤めになりました。1950年に釧路ロータリーは再承認、会長は長内丑右衛門さんで外科医の方です。私は一度この先生にかかったことがあるのですが。

ちなみに1943年から1950年が戦争のために会長不在、釧路クラブには休会が8年間もあるのです。再承認ということで1度解散まではいかないけれど、そういう時間経過があります。釧路クラブのスポンサークラブの札幌ロータリークラブにおいても軍部の影響が大きくて、戦争中の例会ですることは、皇居遥拝・皇居に向かって拝むのです。軍人勅諭奉読、そして一人一人の会員卓話は特攻といわれる憲兵に届け出ないといけなかった、と。食糧事情が悪化して、会食がなかったと。表現でいうと隠れキリシタンみたいな札幌ロータリークラブの運営だったと書かれていました。

これは今日の落としどころですが、東京ロータリークラブは1915年創立なのですが、戦争が深まってきて、1934年に右翼団体から圧力を受けたのです。日本国家社会党から書面が送られてきて、右翼の干渉です。「アメリカ生まれのフリーメイソン、秘密結社じゃないか」という脅かしです。そこで日本国家社会党とロータリークラブの話し合いがもたれて、石川金次郎会長と国家社会党支部長との間で、例会で日の丸を掲揚し、君が代を歌うことで話し合いが付き、京都クラブでは早速このことを日本中のロータリークラブに連絡して、以降は日本のロータリークラブで日の丸を掲揚し、君が代を歌うことになりました。

ですから、この君が代とこの国歌斉唱は1934年に圧力を受けた形のスタートということなのです。最初から国旗掲揚はしていなくて、外の影響を受けて1934年から始まったと記録に載っています。意外なことで「そうだったのか」という私の心境です。重い話ですけど、まあ結構な文書で、ロータリーの中の文書よりは外の文書が非常に面白く感じたので披露した次第です。

**■ 本日のプログラム ■**  
夜間例会「創立86周年にちなんで」

**篠原 実副幹事**

ご紹介いただきました本日司会を担当します副幹事・篠原実です。どうぞよろしくお願いいたします。



釧路ロータリークラブは1936年(昭和11年)11月23日に世界で4092番目、日本では26番目、道内では7番目に誕生して、本年で86年を迎えます。そこで本日の例会を「創立86周年にちなんで～釧路ロータリークラブを語ろう～」と題しまして開催いたします。本日はパストガバナーお二人にスピーチをお願いしたいと思います。それでは小船井修一パストガバナー、よろしくお願いいたします。

**小船井修一パストガバナー**

出席率が高い3つの伝統的クラブ(前橋ロータリークラブ、京都南ロータリークラブ、東京浅草ロータリークラブ)



前橋ロータリークラブ(会員数120名)

過去5年間の例会出席率

下記は2013年から2018年での5年間の半期ごとの実例会出席率である

2013~14 71.65(%)

2014~15 68.91

2015~16 69.19

2016~17 65.28

2017~18 66.22

クラブ会員が考える前橋クラブの良い点、悪い点(長期戦略計画委員会委員2名回答の要約)

<良い点>

- ・歴史と伝統、組織。
- ・紳士的な雰囲気、良い居心地、会員の仲がよい、派閥がない、会員の積極性。
- ・事務局がよい。
- ・会員が多く異業種交流の幅がある。
- ・例会での席を配置換えすること。

<悪い点>

- ・例会出席率が悪い。
- ・委員会が機能していない。
- ・寄付金に協力的ではない。
- ・前例主義。
- ・一部の会員に負担がかかっている。
- ・進んで役を受けようとする会員が少ない。
- ・会員満足度アンケートが活かされていない。
- ・IT関連の進歩がない。

京都南ロータリークラブ

会員数245名東京RCに次ぐ大規模クラブ

実例会出席率72%

メーキャップ後 95%

歴史と伝統の京都ロータリークラブと

活動力の京都南ロータリークラブ

「和気あいあい、多士さいさい」をモットーにしている

最年少会員39歳、最高齢会員97歳の会員数250名のクラブです。250名の会員と三世代が同居しているような年齢構成ですから、例会だけでは、なかなか会員同士の親睦、意思の疎通が図れません。そこで、世代を超えて、より関係を緊密にしてくれているのが、19の同好会です。同好会活動での親密さが、例会時における活気につながり、クラブの活気・活力の原動力になっています。

京都南ロータリークラブ会員のメリット

1. ロータリアンは長生きする

健康の要素として栄養、運動、睡眠が説かれますが、これに加えて、心のやすらぎが肝要と思います。ロータリーに入り多くの善良な友人と交わり、その友人達から感化されて得る、心のゆとりや精神のやすらぎは、

必ず健康に資するものと確信します。

## 2. 人前で話すことに習熟する

多くの人の前で、話をするのは億劫なのですが、入会の挨拶から始めて、色々な機会に話をする機会が多く、良い意味での話上手になることは他人に好感を与え、自分自身も世の中が楽しくなります。

## 3. 国際的な感覚が身につく

ロータリーは本来国際的なものですから、各事業を通じて、今まで知らなかった国際感覚が身につきます。

## 4. リーダーシップが豊かになる

委員長を始め会長・幹事その他の役を経験することにより、リーダーシップが身につく行動力が勝れるようになります。

## 5. 思いやりの深い人になる

ロータリーの標語、〈超我の奉仕〉が説く他人を思いやるロータリー精神が、友人からの感化や例会場での練成により次第に身につく行動に移すことができるようになります。

## 6. 事業の繁栄につながる

ロータリーの会員はあらゆる有益な職業人の集まりです。ロータリアンはお互いに助け合い、お互いに成功するように願っています。

### 東京浅草ロータリークラブ

会員 69 名（出席免除 13 名） 実例会出席率 90%  
新しい会員資格制度の親子会員制度、Web 会員制度を導入し、歴史と伝統のあるクラブが柔軟性を受け入れている。

職業奉仕 12 条が有名

### 職業奉仕 12 条

#### 第 1 章\_自分の職業に誇りを持つ事から職業奉仕は始まる

どんな職業にも貴賤無し、機会を得て職業に付く事は人生そのものと考え、努力し研鑽し社会に奉仕する誇りを持つべきだ。

#### 第 2 章\_天与の職業を愛情をもって育てる事は職業奉仕だ

- ・職業は社会生活を営むために必要な分業を負担する使命と考える。
- ・その職業を社会のために役立たせるため誠心誠意経営に当たるべきである。

#### 第 3 章\_どんな仕事でも有用でそれを継続する事は職業奉仕だ

- ・自分の職業は価値あるもので、社会に奉仕する絶好の機会を与えられたものとする

#### 第 4 章\_事業の経営に最善の努力をする事こそ職業奉仕だ

- ・自己改善を図り、実力を培い奉仕を広げる事。「最も良く奉仕する者最も多く報いられる」

#### 第 5 章\_社員教育に熱意を注ぐのは立派な職業奉仕だ

- ・事業経営には社員は最大の要素であり、この質的向

上こそ健全な発展の基礎である。

第 6 章\_社員の福祉を図り幸福を願う事は職業奉仕だ  
・社員は事業経営のエンジンであり、快適な作動のためにはメンテナンスが必要である。これが福祉であり社員の努力を促し質を高める。

第 7 章\_業界の発展のために力を尽くすのは職業奉仕だ

- ・職業の倫理基準を高める事を業界に示し、それが事業の発展、業界の発展につながる事を理解させ、これが業界の地位の向上につながる結果となる。

第 8 章\_職業倫理を高める事は職業奉仕だ

- ・自分は企業経営者である故成功の大志を抱き、道徳を重んじる人間である。正義と道徳に基づかない事業の発展を望まない。

第 9 章\_常に相手の身になって共存共栄を図る事は職業奉仕だ

- ・事業は合法的であり道徳的である。買った者も売った者も、共に満足しなければ事業は成り立たない。

第 10 章\_自分の職業の水準と品位を高める努力は職業奉仕だ

- ・資本主義の最も醜い面は無秩序な競争で、法さえ犯さなければ金儲けが成功者と呼ばれる社会だ。自らを律し研鑽する事により顧客の満足度を最優先する事に邁進すべきだ。

第 11 章\_例会で多くの人と職業上の理解を深める事は職業奉仕だ

- ・ロータリーの例会を通じて、お互いに職業上の発想の交換をしながら、他の事業上の取り組み方を参考に自己改善を図ります。

第 12 章\_買い手よし、売り手よし、世間よし（三方よし）は、職業奉仕そのものだ。

### 吉田 潤司 パストガバナー



皆さん、こんばんは。小船井さんが本当に格調の高いお話をされましたので後でやるのは大変ですが、私はざっくりと。私は 1980 年にロータリーに入りましたのでちょうど 42 年です。釧路クラブのロータリークラブの歴史の後半・半分くらいにいましたので、その頃のお話をしたいと思います。私はガバナーをやりましたが、ガバナーになにか縁があるロータリー生活だと思います。私が入りました次の年の 1981 年に清水先生がガバナーになりました。それまでの間、釧路クラブはガバナーが出るのに不運な時代というのがありました。エレクトになって奥様が亡くなられて出られなくなったとか、ガバナーに立候補したのですがとんでもない理由でガバナーになれ



なかったこともありまして。私がガバナーになった時、後から手を挙げたのも先だったかもしれませんが、別な人に先に越されたとかがありました。

ガバナーというのは全く別な世界の話だったのです。私が入りました時のロータリーは非常に華やかな時代で、会員も順調に増えて、会員が減少することは当時としてはピンと来ていなかったです。私が会長になりました時に、釧路クラブの伝統的なロータリアンで川口さんがいらしたのです。とても紳士でロータリーの知識も深いですし、いつも静かな素晴らしい人だったのです。私がロータリーの会長になった時、7月直ぐに、川口さんが「ちょっと吉田君、話あるからコーヒーでも飲もうか」と言って、お茶を飲んだことがあるのです。その時に川口さんは「釧路クラブにはいろんな不運なことがあったけど、清水先生がガバナーになってからもうかれこれ20年近くガバナーが出ていないのだ。私は『誰を』とは言えない。でも、当時は順番制というのがあったので、それを含めて誰かガバナーになれそうな人を会長候補者の中に入れて検討してもらえないか」ということだったのです。

私は当時、泉先生にガバナーになってもらいたいとか、今の浅川君のお父さんも素晴らしい方ではないかと思ったのです。泉先生は、当時弁護士さんが少ない時代で、先生は釧路弁護士会の中心で忙しくてそういうことはできないと言われてまして、いろいろ考えました。

それでは候補者の1人に小船井さんを入れようと思ったのです。でも、当時の小船井さんは忙しい人ですし、商工会議所の役員でもありましたし、別世界の人だったのです。でも、私は意を決して小船井さんへ電話をかけて「ちょっと会いたい、小船井さん」と言いましたら、小船井さんも私とは仕事の関係は全くないし、そんなに親しくなかったのか、何かかと思ったのか、行きまして「私の会長の次々年度会長に小船井さん、なってもらえないか」という話をしたら、ぽかんとして多分びっくりしたと思うのです。でも、小船井さんは忙しい中で「1週間、考えさせてください。いろいろと調整ができるかどうか」ということでした。1週間経ちましたら、小船井さんから「分かりました。受けさせてもらいます。」という電話をいただけたことで小船井さんに受けてもらえました。その後は、川口さんにも「小船井さんになりました。私は、その後は分かりませんから」というお話をしたのです。川口さんがその後どういう風にしてガバナーということにしたのかですが、当時、小船井さんの前の前のガバナーかな、高林さんという芽室のお医者さんがある日突然、クラブ事務所に来て、小船井さんといろいろお話をして、「次の次のガバナーを小船井さん、どうしてもやってくれ。『うん』と言うまで帰らないから」という話になりました。それで小船井さんも全く予想していなかったことなので、いろいろあったのですが、私

はその後の話はよくわからないのですが、そうこうして小船井さんがガバナーになりました。

小船井さんがガバナーになったのは2002年です。私は1997年に会長になり、99年に小船井さんがクラブ会長になって、2002年にガバナーになってもらいました。ただ私は、神はこういう人をガバナーに選ぶのだなと思いました。

当時、世界的な潮流として会員の減少するころに入ってきていたのです。RIとしてはいろんな改革をやるうとしていた時代で、小船井さんの時から始まって、2011年には「公共イメージを高めよう」という話が出ました。2010年「試験的プログラム」ができて、「衛星クラブ」「法人会員」や「準会員」とか、「柔軟性」の話が出てきました。

2017年には柔軟性を導入して、例外規定を作って、クラブはある程度自由にできるという中で小船井さんは勉強家ですから詳しく勉強されまして、うちのクラブを引っ張ってもらっておりました。

私もガバナーをやりまして、いろんなところ回った時によく言われることは「いやあ、釧路クラブは良いですよ、小船井さんがいるから。いろいろ知っているから詳しく教えてもらえる」と。でも、小船井さんは私がいろいろ質問をしても「それはこうですよ」という答え方は絶対にしないのです。必ず、ロータリーの定款、その他を見て、「こういうふうになっています」と文章で答えがきます。私なんかは「どうなっているの」と言われたら、「そうじゃないの」というような答え方をします。小船井さんにはそれはなくて、きちんとその答えの裏付けまでを持ってきて「何条にこう書いているから」などと小船井さんは引っぱってこられました。2019年にローターアクトが正式なメンバーになったことなどがあったのですが、なぜRIがこれだけ真剣になったのかは会員の減少が大きな問題だったのです。

いまは会員の減少、少しは止まりましたけど、やはり柔軟性のいろいろなことをやりましても会員の減少は止まってはいないと思うのです。1998年ごろがピークで、私が会長になる少し手前だったのですが、そんな意識は全くなかったものですから。これからも改革があると思うのですが、もっともっと変わって行くのだと思います。

先ほど、小船井さんが話した中にもありましたけれど、うちのクラブで一番問題になるところは、会員が100名様いますが全員が例会に出て来て、会員みんなと打ち解けているかが問題だと思っています。出席率50%ということは100名の会員のうち実質会員50名かもしれません。私、ロータリー入りました時には全くロータリーのこと知らなかったのですが、大学の先輩から「ロータリーに入りなさい」と言われた時に「ああ、分かりました」としましたが、その時に

「吉田君、ロータリーに入ったら6カ月間は必ず全部出なさい」と言われました。もうひとつは「100人もクラブにいるから、みんなのことを覚えることは不可能、絶対に無理だから。逆に吉田潤司を知ってもらうのは簡単だから毎例会に行き、必ずいろんな所に行き『吉田です』、『吉田です』と言いなさい。みんなに覚えてもらうことをしなさい」と言われました。私は、ロータリーは6カ月経ったら辞めるつもりでしたが、でもいつの間にか真面目に実践した結果、何とか42年もいることになりました。最近、新入会員のレクチャーを杉村君の時もやっていましたが「6カ月は必ず出てきなさい」という話をしていました。もうひとつ付け加えてさせていただくのであれば、「例会の時には自分を覚えてもらうようにテーブルを回りなさい」をやってもらいたいと思います。「シャッフルする」という説もあるのですが、私など仕事・現役が終わった人間になりますと、ロータリーに出てきて昔の友達と一緒に話をするのはすごく楽しみなもので、これを引き裂かれて別々なテーブルになるのはすごく寂しいのですよ。昔々、釧路クラブに梁瀬さんと白崎さんという小学校時代からの仲良しの親友なのですが、ロータリーに来て隣になって話をするのがすごく楽しみだと最近すごくよく分かりました。年寄りに移すよりも、新入会員の方を含めてぐるぐる回していただくとその方にもいいと思います。そうやって馴染んでもらって楽しんでもらって、その方を一流ロータリアンと言うのは変な言い方ですが、われわれと同じようなロータリアンになってもらえるとうちのクラブは戦力がもっともっと高くなります。会員増強は絶対大事なことだと思うのです。ガバナーになると必ず言われる仕事の1つに「新クラブを作きなさい」があります。いま新たに20人、30人を集めるのは大変なのです。クラブ100人を120名、150名に持っていくと、ガバナーが誕生した時にその中から移ることもできて新クラブができやすくなると思うのです。これもぜひ考えていただいて100名で満足することなく150名ぐらいを目標にしていたいただければいいのかなと思います。新しいクラブが全国でほとんどできていない状態の中で、釧路クラブが中心となっても新しいクラブができましたら、大変素晴らしいことではないかなと思います。そういうことも含めて希望とお願いです。取り留めない話になりましたが86年間、毎回楽しいこと・同じようなことやっていたけれど、うちの女房には「よく飽きなく、毎週1回行っているね」と言われるのです。これは中に入っている人でなければわからないことだと思うのです。この雰囲気壊さないようにこれからもますます成長・発展していくようにみんなで努力していこうと思います。みんなで一緒にがんばりましょう。

ありがとうございました。

## 乾杯のご発声 西村 智久パスト会長

諸先輩がいる中、ご指名ですので乾杯の音頭とらせていただきます。

皆さん、早く飲みたいという顔が伝わってきております。私



は79代の会長でありますので7年ほど前です。新しく入った方はどこの誰だかよくわからないと思いますが、以後よろしくお願いします。

よく、オリエンテーションの中で「歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに入って云々を言え」と必ず言われていると思います。これについて一言言わせていただきます。

歴史は86年ですので、年が経てば歴史は刻まれます。伝統について私が思うことは、私は吉田秀俊会長からバトンを渡され、邵龍珍会長にバトンを受け継いでいただきました。これを伝統につないでいく意味では『この次の会長を誰にお願いするか』がとても重要なことだと考えております。たった1年とはいえ、これが伝統をつなげるバトンタッチだと考えていますので、滝越会長においてもぜひご慎重なる素晴らしいノミニーをご選択いただきたいと思います。

それでは、みなさまと乾杯の杯を上げたいと思います。今後90周年、100周年まで、われわれはこの場に入れることと健康を誓いまして、みなさんでこの86周年をお祝いしたいと思います。

86周年、おめでとうございます。

## 司会 篠原 実幹事

この後、在籍表彰をしたいと思います。準備の時間をいただきますのでしばらくご歓談ください。

また、本日は今日解禁になりましたボジョレー、少しではありますがご用意させていただいております。ぜひ、飲んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

## 在籍表彰

ここで在籍表彰をいただきたいと思います。

本年度の在籍表彰の方々は、10年表彰・後藤公孝君。15年表彰・栗林定正君、杉村莊平君、菅原顯史君、吹谷浩康君。20年表彰・天方智順君、工藤彦夫君。30年表彰・栗林延次君、佐藤茂良君、大道光肇君。以上の皆さまです。

それでは、本日も出席の方々に記念バッチを贈呈したいと思います。

滝越会長、ご登壇いただきプレゼンターをよろし

くお願いいたします。

(記念バッジの贈呈)

### 杉村 莊平君



杉村です。お世話になっております。皆さんが控えておりますので手短に。時間が経つのは早いものだなと思っております。僕、昭和40

年生まれなのですが15年前ということは42歳くらいで入ったのです。42歳の当時で、15年の人となると昭和25年前後に生まれた方が僕のこの立場になっているのだろうと思います。昭和25年前後生まれの方々、先ほどの小船井パストガバナーもそうだと思いますが、すごく格好がよく、仰ぎ見ておりました。そんな立場になれているのか、多分なれていないと思います。改めて、先ほどのパストガバナーの皆さんお話を聞きながら、釧路クラブにいられる喜びを感謝しながら、これからもう少し成長できるように頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

### 天方 智順君

こんばんは。工藤さんと大道さんがすぐ席に帰ったので長く喋っていいのかなと思いつつ、そうは思っていないませんが、ちょっとだけ。20年経ちました。さっきから思っているのですが、私は2005年の入会なので20年経っていないのではと不思議に思いつつ、もらえるものはもらいたいです。20年前、会長は久島さんでした。当時の例会場はパシフィックホテルで、こちらに移る前の会場で、思い起こされます。さきほど、潤司さんが「入会して6カ月、全部出るよ」というお話を受けて、私は全く反対です。父がこちらのクラブに在籍していたおかげで、ほぼほぼ皆さんが優しく接して大目に見て下さって3年間くらいが会費要員でした。4年目か5年目に川合会長の年に副幹事になって、ゆずり起こされたと思っております。今まで約20年、こちらにいました。受けた温情を少しずつこれから先、在籍年数で返したいと思っております。今日はありがとうございました。

### 工藤 彦夫君

ありがとうございます。20年前に「歴史と伝統のある釧路クラブに入会して」と言って20年が経ちました。

最近やっと歴史と伝統のある言葉に重みを感じるまで20年かかりました。ありがとうございます。20年振り返ると、たとえば話で言うと、あまり知らない友達に「ちょっと家においで」と言われていても、たいして話すこともない。そのうちチョコチョコ話していたら楽しいなと思って、そのうち食事が出て、お酒も飲んで「ああ、楽しいな」と思って時間を見ると11時半と。「長いこといたなあ」という感じで、12時くらいまでに帰ろうと思うのだけど、2時・3時になるかも分かりませんので。今後、よろしくお願いいたします。以上です。

### 大道 光肇君



すみません。タコが噛み切れなくてまだ残っています。2カ月の入院生活で食べるものが食べられなくなりました。おかげ様で無事退院したのですが、皆さま方が10とすると私はいまだに5～6ぐらいの飲み込みですから、いまだに残っています。ごめんなさい。平成3年だと思いますが10月2日に入会させていただきました。そのときのスポンサーは『八浪』の樋口謙三郎さんと、うちの隣の西端寺の福田 義雄さんです。だいたい前から言われていたのですが、うちの親父が会員だったので親子2代なのです。たまたま昭和55年にうちの親父が本山に単身赴任しまして3年間、本山の実技責任担当者になってそれで辞めたのです。その後「お前、やれ」と言われたけど固辞しておりました。親父がいないからとても忙しかったのです。ちょうど定光寺の100年事業が昭和62年にありまして、ようやく落ち着いた時に「じゃあ、会員にさせていただきます」と。それが平成3年ですね。私のあの頃は真面目だったのです。今は不真面目ですけどね。うちの親父から言われたのは「皆さんに迷惑をかけるから、ロータリーはなるべく休まないように」ということでかなりメイクアップしておりました。うちの親父の当時は、北村藤兵衛さん、嵯峨晃さん、両角克治さんなどそうそうたるメンバーでした。亡くなった人を言うのはおかしいのですが、北村藤兵衛さんはすごくうるさくて、厳しかったですね。私、運転手で全道のあちこちのお寺にうちの親父を乗せて行ったら、必ずその場所・場所でメイクアップしておりました。最初、私はそれを習って3年間くらいは100%だったのですが、だんだん不真面目になりまして、今に至るわけです。77歳ですからいつまで会員に入れるのか分かりませんが、もし、私が駄目になったら息子に引き継ぎ

たいと思います。親子3代にわたっての会員になれたらいいなと願っておりますが、これからは無理をしない程度にロータリーを楽しませていただいて、そういう不真面目な会員ですけど今後よろしく願いたします。ありがとうございました。

(手に手をつないで)

### 中締めのご挨拶 白幡 博パスト会長

それでは皆さん、86歳ということで今日、皆さんでこのように楽しく祝うことができます。本当にありがたいなと思います。



先ほど、小船井さんと吉田さんの両パストガバナーのお話を聞きながら、私が一番思い出すのは自分自身が入会した時の先輩の叱咤激励というか、可愛がっていただいた時を思い出しました。本当に素晴らしい先輩に恵まれました。特に食事の時なのですが、親睦ですから食事が当たるか当たらないかは会員皆さんの出席状況で変わるわけです。私はどちらかというとホテルさんには申し訳な

いですが、パンフィックホテルの1階のバイキングコーナーが大好きで、この会場で食べる料理は好きな食事を食べることができて、非常に楽しみでありました。先輩方も「白幡、行くぞ」と声掛けをしていただいて、楽しい新入会員時代を思い出しました。今日はこのように皆さんと一緒に祝うことができ、滝越年度がまだ半年以上残っていますので頑張ってお皆さんと力を合わせて後藤年度につなげたいと思います。滝越年度の友情・愛情・熱意をもってということでございます。

皆さん締めでございますので、元気よく、明るく、そして忘れず熱意を持って締めたと思います。三本でどうでしょうか。

それでは、ご唱和お願いします。それでは残り後藤年度につなげるためにも皆さんで力を合わせて滝越年度、よろしく願いたします。

それではお手を拝借。

(三本締め)

どうもありがとうございました。

### 本日のニコニコ献金

- 滝越 康雄君 毎日毎日ロータリーです。来年6月末のキャンドル例会目指して、カウントダウンで日数を数えています。
- 中島 徳政君 スタートして5ヶ月台に入りました。残り2/3。頑張ります。

今年度累計 113,000円



# 例会スナップ

